



# きずな

学校と家庭・地域が協力し、  
共に子供の未来を育みましょう。

令和8年5月8日  
校長 高田 幸代



## すてきな姿がいっぱいです



5月に入りました。令和8年度がスタートして約1か月がたちます。子供たちは新しい友達、新しい先生と新しい気持ちで頑張る姿がたくさん見えました。特に1年生はたくさんの「初めて」を6年生をはじめ高学年の力を借りて、一生懸命頑張っています。頑張る1年生も素敵ですが、何よりも、それを支える高学年のやさしい姿に心が温くなる毎日です。他の学年もやる気いっぱい！



- \*一生懸命掃除をする姿
- \*授業でたくさん手を挙げる姿
- \*けがした子をみんなで助ける姿
- \*大きな声で挨拶をしている姿
- \*学校のために委員会の仕事を責任をもってする姿



去年よりもさらにより良い自分・より良いクラスになるために、一人一人の成長を職員一同応援したいと思います。頑張った分、少し体も心も疲れが出てくる頃です。何か気になることがあれば、なんでも学校にご相談ください。

### 全校集会より 4/30



**めざす学校 成長を実感できる学校**



みんながたのしい みんながのびる みんなでつくる符津小学校

「みんながたのしい みんながのびる」学校を目指して、全校集会で「たのしさ」についてみんなと考えました。

**みんながたのしい**  
 みんなでおにごっこ みんなでおたのしみ会  
 みんなで文化さい

みんなでなかく協力できた  
**楽しい**

**みんながたのしい**  
 漢字のれんしゅうをして書けるようになった  
 なわとびを練習して二とびができるようになった

一生けんめいがんばったらできるようになった  
**楽しい**

「たのしさ」には

- \*みんなで仲良く協力し合う「楽しさ」
  - \*一生懸命頑張ったらできるようになった「愉しさ」
- の2つがありますね。どちらの「たのしさ」も大切にしながら、勉強や活動をすることで、

- ★できるようなることが増える
- ★今までよりも賢くなる
- ★人の気持ちを考えたり優しくしたりする心が育つなど

みんなが「のびる」ことにつながります。「みんながたのしい みんながのびる」そんな学校を「みんなでつくる」いきましょう。

### 1年間がんばってほしいこと

**自分から考えて学ぶ**

**あきらめず一生懸命**

**思いやり、ともにのびる**

今年もみんなの頑張る姿をたくさん見つけたいと思います。

# 4月の符津っ子



1年生 はじめての給食



交通安全教室

1・2年は道路の歩き方、3～6年は自転車の乗り方について小松警察署の方から教えてもらいました。



今年初めての参観日  
みんな一生懸命頑張っていました。



学校のHPをご覧ください。少しずつ更新していきます。



## お知らせ

### ①スクールガイドを配布します

学校からたくさん大切な通知をお配りしています。試みに大切な部分をダイジェスト版にして「スクールガイド」として各ご家庭に配布します。(5月中旬配布)ご家庭で掲示等していただき、子供たちが安心して学べる環境づくりへのご協力をお願いいたします。

### ②小松市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

テトルでもお知らせがありましたが、小松市教育委員会より、上記の計画について通知がありました。教職員の業務量を適正化し健康を守ることは、子どもへの質の高い教育の基盤であり、喫緊の課題です。本校においても小松市の計画をもとに教職員の負担軽減と働き方改善を進め、持続可能な学校づくりを目指します。今後、取組についてお知らせをすることもありますが、ご理解とご協力をお願いします。

### 小松市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について【概要】

<b>1. 策定の経緯</b> 令和7年6月の給食法改正に伴い、令和8年4月1日から、各教育委員会は、服務を監督する教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置の実施に関する計画(「業務量管理・健康確保措置実施計画」)の策定が義務付けられた。	
<b>2. 現状</b> 時間外在校時間月平均(時間)	月80時間を超える教職員
小学校 R1: 42.5 R5: 38.7 R6: 36.1	小学校 R1: 9.9% R5: 2.6% R6: 2.2%
中学校 R1: 60.2 R5: 54.0 R6: 50.4	中学校 R1: 31.7% R5: 18.1% R6: 15.2%
高校 R1: 28.4 R5: 43.9 R6: 33.3	高校 R1: 5.5% R5: 2.8% R6: 4.3%
<b>3. 目標</b> 計画開始日 令和8年4月から令和12年3月まで (1) 時間外在校等時間に関する目標 ・時間外在校等時間の月平均を30時間以内へ減少させる ・時間外在校等時間が月80時間を超える教職員をゼロにする。	
(2) 働き方に関する目標 ・今の仕事にやりがいや充実感を感じている教職員割合 80%以上 ・年次有休取得率(教職員)が、年間平均が60%以上 80%以上 ・年次有休取得率(教職員)が、年間平均が60%以上 15%以上 ・ストレスチェックの実施率(教職員)が、年間平均が60%以上 10%以下	

### 業務量管理・健康確保措置実施計画について【概要】

- 4. 具体的な取組内容(抜粋)**
    - (1) 「業務の3分類(危険または取組イ学校以外が担うべき業務)授業等で使用する教材等は、できる限り業者から保護者が直接購入する方法などを検討していく。
    - ◆保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等へは、スクールソーシャルワーカー(SSW)や市教育委員会が対応していく。
    - ◆記録録音機能・自動音声応答機能付き電話の導入を推進していく。
    - 教師以外が積極的に参画すべき業務
    - ◆ 教師以外ができる業務については、スクール・サポート・スタッフや教頭等マネジメント支援員等の活用を推進していく。
    - ◆ プール指導の民間委託の拡充を図っていく。
    - ◆ 部活動の地域展開を平日にも拡充していく。
    - 教師の業務負担を軽減するための業務
    - ◆ 校務支援システムや課外支援システムのさらなる活用を進めていく。
  - (2) その他の取組**
    - ◆ 調査・報告の簡略化・電子化、会議・研修の整理・減縮および開催方法の工夫(市教委)
    - ◆ 校務のさらなる推進、職員会議等の実施方法の工夫、教務課程「自課-学校行事等の実施方法の工夫(学校毎)
    - ◆ ストレスチェックの実施継続、夏季休業中の学校閉庁日の設定、留守番電話や保護者連絡システムの活用
- 5. 今後のフォローアップについて**
- ◆ 教職員の勤務時間調査の継続
  - ◆ 目標達成状況について、毎年度、市HPでの公表、教育委員会会議で総合教育会議で報告